

ケアマネ通信おびひろ

第19号（令和8年3月16日発行）

目次

- 1、令和7年度 第3回学習会 開催報告
- 2、令和7年度 多職種連携 開催報告
- 3、いやしのオフタイム
- 4、ケアマネの輪
- 5、その他（審査会委員募集・事務局からのお願い）

令和7年度 第3回学習会

テーマ『明日から使える！身近なICTで業務改善』

令和7年12月17日開催

ケアプランセンターあおいとり 鳥海 伸晃

自分はもともとパソコンやインターネットなどの類の事には疎い方の人間で、恥ずかしながら根っからのアナログ派です。日頃から業務でパソコンは使用していますが、実際の業務の場面でも入力も遅く苦手と感じていました。

今回の研修会ではICTによる業務改善という事で初級・中級・上級とクラス別に分かれ、自分はもちろん「初級編」を選択し初級編ではWindowsの標準機能について講義を受けました。普段からWindowsのPCを使用し業務を行っているにも関わらず、キーボードの使っていない部分が多くあり、便利な機能を知らずにいました。

Windowsの便利な機能として「ショートカット」の方法や「単語登録」「音声入力」などパソコンが苦手な自分でも今すぐに出来そうな事があり、それを知る事で業務の効率が図れそうだと感じました。今回は初級編でしたが、次回があるなら、ぜひ中級編にチャレンジしてみたいと思いました。音声入力などはとても精度が高いと感じたので今後の業務に役立ちそうだと感じました。

令和7年度 多職種連携

『医療系サービスとケアマネの連携』

令和8年1月14日開催

介護老人保健施設 ケアステーションアンダンテ♪

伊藤 竜至

今回の研修では、医療系サービスとケアマネジャーの連携について、具体的なお話を交えながら分かりやすく学ぶことができました。

特に、バイタルリンクの活用については、情報共有をスムーズに行うための実践的な方法として大変参考になり、今後ぜひ活用していきたいと感じました。グループワークでは日頃感じている疑問や工夫について意見交換を行い、話が尽きないほど盛り上がり、あらためて現場同士で語り合うことの大切さを実感しました。また、多職種それぞれがどのような情報を必要としているのかわかることで、連携の取り方一つで業務のしやすさが大きく変わることも再認識しました。正直なところ、これまで看護師の方々には「忙しそうで少し怖い」というイメージがあり、相談するのに勇気が必要でしたが、今回の研修を通じて、実はとてもやさしく気さくな方ばかりだと分かり、気づけばハードルがすっかり下がっていました。

このような学びと安心感を得られる場を企画していただいた主催者の皆様に感謝するとともに、今後はより気軽に声を掛け合いながら、より良い支援につなげていきたいと思っております。

～ いやしのオフタイム ～

居宅介護支援事業所 はるか
小暮 紘子

コロナ禍真っ只中で“ソーシャルディスタンス”が強調されていた時期。

大好きなお稽古事、旅行や買い物に気軽に行けなくなりました。そのような中で、私の楽しみは接する人が最小限で大きな移動を伴う必要が少ない、乗馬が大きなウェイトを占めるようになりました。ちょうど、本州からこちらへ来たばかりのころで、それが今でも続いています。

母と祖父の影響で小学生のときに初めて馬と出会って以来、コロナ後は馬と触れ合う回数がさらに頻繁になりました。本州の街中にある馬場とは違い、空気が綺麗な広大な北海道で駆ける乗馬は格別です。

空気には香りがある…と聞いたことがあります。特に十勝の冬の空気は何とも言えません。緑芽吹く初夏も素晴らしいですが、それ以上に冬のキン！とした澄み切った空気。十勝の冬の空気にも独特の香りがあると思います。

20代の頃は、東北の山中やモンゴル草原。震災前、松島海岸で波打ち際を走ったのも懐かしい思い出です。今は体力低下もあって、そんな長丁場は厳しいものがあります(苦笑)。こちらに来たばかりのころ、引退した競馬馬に会いに行った浦河での外乗も良い思い出です。しばらくは、道内で“北海道らしい”四季折々を感じながら、ゆったりと外乗を楽しみたいです。



～ ケアマネの輪 ～

介護老人保健施設 あんじゅ音更
荒地 拓也

老人保健施設あんじゅ音更に施設ケアマネージャーとして入職して3年目を迎え、現在はケアプランの作成をはじめ、生活相談員業務も兼務し、入所・退所に関わる相談や調整など幅広い支援を行っております。ご利用者様が安心して施設での生活を送れるよう、また次の生活の場へ円滑に繋がられるよう、多職種と連携しながら日々業務に取り組んでいます。

支援において大切にしているのは、ご本人とご家族の思いを尊重し、その方らしい生活を支える事です。一人ひとりの背景や希望に丁寧に向き合いながら、医療・看護職・介護職・リハビリ職・栄養職など、さまざまな専門職と情報を共有し、チームとして最適な支援を考えております。これからも多職種連携を大切にしながら、信頼される支援を提供できるよう、日々精進してまいります。

また、余談ですが、今年は趣味の釣りを再燃させようと考えております。食べることを目的として、家族に新鮮な食材を食べてもらいたい思いで基本的に海釣りをしております。今年は精力的に釣り活動を行う予定ですので興味がある方はお声がけください。よろしくお願い致します。



～～～ 帯広市介護認定審査会委員の募集 ～～～

帯広市介護支援専門員連絡協議会では、帯広市の「介護認定審査委員」を募集しています。認定審査の仕組みなど大変勉強になると思います。自薦・他薦は問いませんので、ぜひやってみたい方は事務局までお問い合わせください（応募者多数の場合は調整します）。

- 要件
- 本会会員であること
 - 本会を代表して審査会委員を担えること
 - 所属事業所から許可が得られること（報酬がありますので）
 - おおむね3か月以上担当できること（場合により継続あり）

【事務局からのお願い】

- ★連絡先や勤務先が変わったり、名字が変更になった場合、ホームページにある「入退会・変更届出書」の書式を活用し、速やかに提出ください。
- ★会員への情報配信は可能な限りメールでの配信をお願いいたします。メールアドレスの登録についてもご協力をお願いします。
- ★新規入会は随時受け付けています。「入退会・変更届出書」はホームページから入手できますので、詳細については事務局までご連絡ください。

<http://keamane.yokochou.com/>
事務局：早川・金井

【編集後記】

あっという間に3月ですね。みなさんの事業所では出会いや別れがあるのでしょうか。当会では8月に老後資金・資産運用についての意見交換会をしました。新NISAなどを始めた人も多いと思いますが、今年の株式市場は「牛尻下がり」というアノマリー（ジンクス）の年になりそうです。4月から何かを新しく始めたり、何かを変えたり、ゆっくりと継続したり。皆さんにはどのような春が来て、夏秋冬が来るのでしょうか。

総務部 宮本